

安全対策委員会

まもる事故PJ

標準化

事故の予防と対策の強化

- ① 事故情報の共有化
- ② 事故対応の標準化
- ③ 各事故防止マニュアル
- ④ 事故報告の書き方
- ⑤ 事故分析の標準化

組織的な事故防止システムを構築する
標準的な事故防止システムを理解する
事故防止のスキルの標準化

- ① 観察と報告と記録力の向上
- ② 申継ぎの徹底

安全管理のシステム構築

- ① 事故対応の標準化
- ② 事故防止スキル定着
- ③ 環境整備の点検
- ④ 安全文化運動の推進

研修

- ① リスクマネジメント研修の実施
- ② リスクマネージャー養成の研修参加
- ③ 心肺蘇生法 & AED
- ④ 応急措置

正しく理解し、正し対応し 適切にまもる

- ◆ 基礎研修の反復訓練
- ◆ 事故想定ロールプレイ訓練
- ◆ スタンドアプリコーションの研修
- ◆ 感染症予防のための建物環境整備

重点研修課題

- PJ主導の研修体制
- 心肺組成法・AED
- 安全点検活動
- 定期的理解度テスト

改善

- ① 事故報告書の初動強化
- ② SHELL並びにKPT改善
- ③ 事故分析の見える化
- ④ 事故防止マニュアル整備
- ⑤ チェック&メンテナンス
- ⑥ 改善成果指標の設定
- ⑦ ラウンド改善
- ⑧ 5S運動の習慣化

防災戦略

- ⚠ プロジェクト主導の教育訓練体制
- ⚠ 月次事故報告と注意喚起
- ⚠ 所在不明・不審者・入院対応・運転
- ⚠ 事故の見える化 運動
- ⚠ 安全点検体制の確立

重点改善

- 服薬ミスの軽減
- SHELLモデル
- 事故報告の分析
- 緊急時の報連相
- マニュアルチェック
- 5S運動の強化
- 労災事故ゼロ